

二宮町町民活動推進委員会 第5回議事録

日 時：平成28年11月10日（木） 18：30～20：15

場 所：二宮町役場 第1会議室

出席者：手塚委員長・大河原副委員長・志賀委員・高橋委員・月橋委員
野原委員・村田委員・山岡委員・山田委員

事務局：地域政策課 3名

傍聴者：0名

配布資料

- ・ 会議次第
- ・ 資料1 平成29年度二宮町町民活動推進補助金募集のお知らせ
- ・ 資料2 町民活動サポートセンター運営状況
- ・ 資料3 平成28年度町民活動推進補助金交付団体活動現場視察委員希望一覧

1. 開会

2. 委員長あいさつ

最近の市民活動やNPOに関する動きをお話しさせていただくと、NPOなどがボランティアを被災地や復興地にバスで派遣するボランティアバスについて、参加者から参加費を直接集めるのは、旅行業法違反ということで観光庁が是正通知を出した。その後、NPOなどから改善要望がされ、国でも検討会が10月に設置され、今後、ゆるやかな規制になると期待されている。また、休眠預金の活用についてだが、公益活動に生かせるよう働きかけが行われ、国でも検討されてきたが、今回、法案が提出された。今後の動向を見守っている状況である。

3. 議題

(1) 平成29年度町民活動推進補助金について

(委員長) 審査基準の項目「地域性」についてだが、地域とは、二宮全域を想定しているのか、一部地域を想定しているのか。

(事務局) 二宮町全域を想定している。

(委員長) 地域性の詳細説明が「活動が地域の実情に合致したものであるか。」になると、地域の概念があいまいとなり、公益性に反する可能性もある。

(委員) ふるさとの家やせせらぎ公園など一定の地域（場所）でボランティア活動しても、町

民全体を対象とし活動すれば、補助金の対象となるか。

- (事務局) 補助金の対象となる。限られた地区限定では対象外だが、分け隔てなく参加できる活動であれば問題ない。
- (委員) 公益活動の範囲を明確にするのは、難しい。
- (委員長) 公益性の考えとして、活動開始時は限られた地域だとしても、将来的に活動範囲を広げる計画があれば公益性があると判断できる。限られた地域のみで活動を継続するのであれば公益性はないと判断される。
- (委員) 既に制度や素地がしっかりとある活動にこの補助金を対象にすることは、町の実状に合っていないのではないか。
- (委員長) 様々な団体が同じ活動をすることで、より良い活動が残っていくこともある。また、町として既に素地があるから補助をしないというのも、既得権益になってしまう部分もある。
- (委員) 二宮町を対象としているが横浜でほとんど活動を実施している団体は、地域性がないと考える。
- (委員) 公益性や地域性については、型にはめることは困難なので、この委員会の書類審査時に判断するとして、審査基準の詳細については、そのままの文言で良いのではないか。
- (委員) 募集期間について、町民活動ステップアップ支援の募集期間が1月4日から2月8日となっているが、もう少し延長できないか。募集期間が短いと思う。
- (事務局) 提出後、事務局で書類確認をし、2月20日の週で書類審査(1次審査)を予定している。その後、3月12日に公開プレゼンテーションを実施する。団体がプレゼンテーションに向けた準備も考慮にいとこの期日が適切と考えている。

(2) にのみや町民活動サポートセンターの運営状況について

- (委員) PR情報シートは、どのように公開する予定か。
- (事務局) サポートセンターでの閲覧やHPの公開を考えている
- (委員) 趣味の活動から、地域貢献や町民活動に参加される方が増えれば良いと思うので、ラディアンにも置いていただきたい。
- (委員) コピー機、印刷機の収益はどうか。
- (事務局) コピー機、印刷機は、収益をあげるものではなく、町民活動に対しての支援と考えている。機器の使用料は、インクなどの消耗品実費相当分をいただいている。今後、機器の更新については、町民センター、役場を含め、利用状況を踏まえ、検討を行う。
- (委員) 駅前から移動したことによる利用者の声はあるか。
- (事務局) 駐車場があるので、便利になったとの声は聞いている。
- (委員長) アンケートでは、駐車場が欲しいとの声が多かったので、良かった。
町民活動サポートセンターの運営について、サポートセンターに届いた書類(配架物)等の数量を記録しておく、管理運営が委託に切り替わった際などに業務量を把握し

やすくなると思う。

情報シートについては、冊子にして配架、ウェブで公開し、可能であればラディアンにも配架する。印刷機、コピー機については、コストパフォーマンスを考えながら機材の設置を検討していただき、利用者の意見をこまめにとり、今後の運営に生かしてもらいたい。

(3) 補助金交付団体の活動現場確認について

(委員) にのみや子ども自然塾については、自然の中でのびのびと子どもが遊んでいる姿に感動した。現在は保護者も参加しなければならないが、今後は、子どもだけでも遊べるようにしていく計画があることを聞いた。

(委員) 虫によって葛の葉の食べ方が違うなどの知らなかった話があり、参加して良かったと思える内容だった。

(委員) 二宮災害ボランティアネットワークについては、町全体の計画やまちづくりに関わるような話で、ボランティアが扱うには大きいと思える良い内容だった。補助金が今回で最後なので、このような活動をしている団体を下支えして、基盤をしっかりとしていくことが大切である。若い人がもう少し参加して欲しかった。

(委員長) 基盤整備後の団体の行く末についても検討していく必要がある。委託や協働事業に繋げていければと思う。

※ スタート支援の二宮総合型地域スポーツ（ラビッツ）クラブ設立準備委員会の現場確認は志賀委員、菜の花アートフェスティバル実行委員会の現場確認は、手塚委員長、大河原副委員、山岡委員、高橋委員、野原委員となった。

(4) その他

次回開催（一次審査）：2月24日（金）18時30分～ 第1会議室

公開プレゼンテーションは、3月12日 13時30分～

4. 閉会

議事録署名人

議事録署名人
